**令和４年度　木材利用優良施設等コンクール**

応募様式

**国産材利用推進部門　応募様式**

※　本様式の記載に当たっては、欄外の「応募様式の記載に当たっての注意事項」、「その他留意事項」をよくお読みいただき、間違いのないように記載してください。

応募フォーム：<https://www.jcatu.jp/concours_r4/index.php>

＜必須記載事項＞（注１）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業者名 | 名称：　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 所在地・　連絡先（電話番号） | 〒TEL |
| 連絡先 | 担当者名・所属 |  |
| 電話・FAX・Email | TEL　 | FAX　 | Email　 |
| 分類 | 該当する項目にチェックする□住宅関係事業者　□非住宅関係事業者　□プレカット事業者　□流通業者（製品に限る） |
| ＜詳細説明事項＞（注２）・極力ポイントとなることを箇条書きにて、記述願います。・（１）については、評価対象とする令和３年（又は３年度）の他、令和２年（又は２年度）までの4年間の利用実績についても記述願います。・また、各記載事項について確認できるオンラインサイト等がある場合には、ＵＲＬ等を表記願います。 |
| （１）国産材の取扱量が顕著なことによる国産材利用の推進 | ① 国産材製品の令和3年（又は令和3年度）の利用量（素材換算） | （留意事項）丸太換算は、木材需給表Ⅰ１（２）の丸太換算率を用いてください。<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/file-download?statInfId=000032121754&fileKind=2>利用量：　　　　　　　　　㎥対象期間：　　　年　月　日～　　　年　月　日対象利用量：□入荷量　　□出荷量【計算概要】上記期間中の木材利用総量に占める国産材の割合：　　　　　％【計算概要】 |
| 【参考資料】② ①の利用量を除く令和2年（又は令和2年度）末までの4年間における国産材製品の利用量 | 利用量：　　　　　　　　　　㎥対象期間：　　　年　月　日～　　　年　月　日対象利用量：□入荷量　　□出荷量利用量産出に係る計算概要： |
| （２）持続可能な森林経営を促す国産材利用の推進 | ① 調達する木材が持続可能な森林経営を行っている森林から産出された材であることをどのように公表・発信しているか | （記載例）・環境報告書、株主総会資料等に記載している・ホームページ上において毎月更新している |
| ② 材を調達した森林の適切な更新と持続可能な森林経営を促すため、どのような取組を行っているか | （記載例）・材の調達先と○○協定を結び、伐採後の再造林や循環的な資源利用を約束事項として定めている・違法伐採木材の取扱いは行わないとの方針を公表・発信している・森林法等の規定に違反した事業者の森林から産出された材の取扱いを行わないこととしている |
| （３）国産材利用を促すための普及活動の推進 | ① どの様な（内容や媒体等）普及啓発活動を行っているのか | （留意点等）・ホームページ、SNSやパンフレットといった発信媒体の種類と普及している内容について記載すること |
| ② 普及啓発活動の頻度はどれくらいか |  |
| ③ 普及活動の効果はどのくらいか | （留意点等）・例えば情報発信先数、把握できた来場者数や、アンケート調査等を行っている場合には、その把握方法と結果について記述すること |
| （４）計画的・持続的な国産材利用の推進 | ① 国産材利用を計画的に進めるためにどのような取組を行っているか | （記載例）・自社の○○○方針や木材調達計画において国産材の調達量を明記している・建築物木材利用促進協定を○○と締結しており、その中で木材の供給・調達に関する取り決めを行っている。 |
| ② 国産材利用を持続的に進めるためにどのような取組を行っているか | （記載例）・国産材供給サイドと協定を結締結し、〇年まで毎年の最小調達量について記述している。 |
| 備　　考 |  |

|  |
| --- |
| 応募様式の記載に当たっての注意事項 |

（注１)

「必須記載事項」は全項目の記載をお願いします。記載されていない項目がある場合は、審査対象となりませんので、ご注意ください。

（注２）

本コンクールの審査では、「詳細説明事項」が重視されますので、具体的な内容を正確かつ簡潔に記載してください。

|  |
| --- |
| その他留意事項 |

○　記載内容について、事務局から詳細な内容の確認や追加の証拠書類等をご依頼する場合がありますので、あらかじめご了承ください。